

保護者の皆様へ ご挨拶

保護者の皆様には、日頃より南姫中の教育に対するご理解並びに、温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。校長の宇津慎一と申します。本年度もよろしく願いいたします。

一昨年の4月から多治見市に勤務することになり、2年が過ぎました。昨年は伝統となってきた南姫中校区大運動会も初めて体験することができ、充実した地域の支援体制など、南姫の特性をさらに深く知ることができました。多治見市内で一番少人数の学校ですが、地域とのつながりは他校以上に強く、市内一、地域と密着した校区だと感じています。



さて、この3月に50名の卒業生を送り出し、それぞれ新しい環境に進んでいきました。近隣の高校から、遠くは宮城県まで22もの進路先がありました。また、その内9カ所が1人、6カ所が2人の進学でした。中学校までは、お互いよく知っている仲間50人前後の集団から、一気にこれまで経験したことのない環境へ進まなければならないのは、南姫中学校の特徴ではないでしょうか。卒業した先輩たちも新しい環境で3週間が過ぎ、それぞれに頑張っていると思いますが、仲間関係などで苦勞している人も少なくないと予想されます。

ただし、在校生もその道を避けて通ることはできません。だからこそ、心も体も著しく成長する中学校の3年間で、仲間との関わりをこれまで以上に大切にして、苦しい状況にぶつかってもくじけることなく、自分の力で乗り越えたくましく生きていくための基礎を育んでいかなければなりません。

生徒一人一人が、社会の急激な変化や課題に柔軟にかつたくましく対応できる。また、南姫地域の一員として、豊かな人間関係を築きながら、自らの夢に向かって挑戦し続けることができるよう、支援していける教師・学校でありたいと、強く心に刻んでいます。

大切にしたいこと

“自ら学び”

*一人一人が夢や目標をもち、自ら挑戦する意欲を高める。

“たくましく生きる”

*妥協することなく粘り強くやりぬき、失敗しても立ち上がるたくましさを身に付ける。

“心豊かな”

*仲間と心をつなぐ支え、鍛え合う大切さを知り、真心をもって共に生きるすべを知る。

新年度のスタートにあたり、職員は生徒が夢や目標をもてるように、懸命に指導しています。そして、一人一人がそれぞれの目標に向かって歩み始めたところです。

これからも全職員が、生徒一人一人と正面から向き合い、気持ちを大切にして、粘り強く指導していきます。そして、やって良かったと感じるまでやり切らせます。

そのため厳しい指導もできます。そこで保護者の皆様をお願いを二つします。

まず一つ目は、「ご自分のお子さんが、今学校で何に向かって努力をしているのか」をつかみ、そのことで担任としっかりつながってください。これは、チームとしての力となります。今年はワールドカップイヤーですが、代表選手には監督やコーチだけでなく、管理栄養士やドクター、メンタルトレーナーがいるのと同じです。多面的に子どもを支援することが大切です。また、お子さんについて、家庭で困っていることなどありましたら、遠慮無くご相談ください。

学校と家庭、それぞれの役割はありますが、子どもたちに何かあったとき、苦しんでいるときに、学校と家庭がもめるのではなく、こういうときこそ、学校と家庭が協力して、真心をもって、子どもを強く大きく育てていきたいと思います。



二つ目は、「認めと励まし」です。これから子どもたちは、必ず悩み苦しむことがあります。そんな時こそ、伸びるチャンスだと捉え、わずかな成長でもあるいは、成果として現れなくても努力を認め励まし、温かく支えてやってください。これは、大きな力となります。マラソンランナーが苦しい場面で、沿道からの声援に勇気づけられる気持と同じです。

全校生徒134名の多治見市で一番少人数の学校ですが、自ら学び、たくましく生きる、心豊かな、多治見市で一番の生徒を育てます。創立30周年の節目の年、是非とも今まで以上にご協力いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

平成30年4月